

きらつと輝く
民医連職員めざして



山内康暢さん
(総合医局事務課)

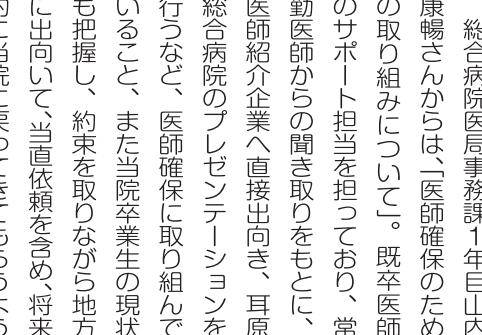


最初に同人会事務委員会を代表して清水琢人事部長から「職員が求められる3つの役割（正確な実務、連携の要、運動の組織者）」が紹介されました。まずはDVDを使って憲法を学び、集会での憲法9条改憲NO！アピールを確認しました。

同人会事務集会（1～2年目・振り返り）を昨年12月9日（土）にみみはらホールで開催し、7人から報告がありました。



石井彩奈さん
(みみはら鳳クリニック)



同仁会グループ 事務集会



清水琢人事部長



渡邊孝晴副専務



森岡徳子副理事長



最後に、渡邊孝晴副専務理事が、「いつもども、どこども、だれもが安心してうけられる医療と福祉を実現する為に、様々な職種と一緒に、一人の患者さんのために力をあわせて、地域の人々と力を合わせて『医療・介護の改善』『社会保障の拡充を実現する』ために、民医連事務職員が求められていいる役割を今一度確認し、課題や成果を共有することができました」と今集会を振り返つていただけきました。

る、きらきら保健介護予防教
室。3ヶ月連続で実施
した、認知症シリーズ
第3弾は、耳原鳳クリ
二ツク 小川師長に

①なじみの関係
②心の受容
③心のゆとり
④説得よりも納得
⑤意欲の活性化
⑥孤独にしない
⑦人格の尊重
⑧過去の体験は心のよ
りどころ
⑨急激な変化を避ける
⑩事故の防止…。

した、認知症シリーズ第3弾は、耳原鳳クリニック 小川師長に「認知症の介護・認知症予防」について話していただきました。

認知症の介護者のご苦労は、たいへんなものですね。しかし、認知症という病気を正しく理解することにより、ちょっとした配慮や工夫ができるという内容でした。

予防についての詳しい内容に、「ああ～できてな～わー」との声がちいさい…。

「皆さん、認知症のことで一番気になるのはどんなことですか？」と、小川師長の質問に、1人の参加者から「実は

①バランスのよい食事
②適度な運動
③規則正しい生活
④生活習慣病の予防・早
期発見・治療
⑤転倒に気をつける
⑥好奇心を持つ
⑦考え方をまとめ表現する
⑧細かな配りをする
⑨おしゃれを忘れず
⑩よくよしない!

する…介護の勉強もせんとあかんけど、今私は大丈夫かしら?」
「そうそうーほんや」と、皆さん苦笑。
講義の最後には、参加者全員で、認知症自己診断テストに挑戦。久じぶりの筆記テストに皆さん緊張していましたが、頑張って回答していました。

「こんな風に、教室に参加する意欲こそが、認知症予防には、一番大切な事ですよ」との話に、「来年も参加できぬように頑張りたい!」と、皆さんの笑顔が見られました。

認知症介護、家族の接し方10力条と認知症予防10力条

きらきら保健介護予防教室③



シリーズ
現場からの
視点

368